



授業づくりの視点

「A表現」では、児童の実現したい思いを大切にしましょう。4年生の「B鑑賞」では、自分の見方や考え方を広げられるようにしましょう。

児童が自分の感覚や活動を通して、材料や作品、出来事等を、形や色等の造形的な視点で捉えられるようにしましょう。

完成作品だけでなく、発想や構想したり、技能を働かせたりしている製作途中の作品を見合う等、表現と鑑賞を関連させましょう。

授業実践事例

1 題材の概要 音楽会の記念CDジャケットをつくろう！【第4学年】

表現や鑑賞の活動を通して、作品に表したいことや表し方等について考えながら、形や色等の感じ、そこから受けるイメージに着目させ、自校の音楽会の曲に合うように「音楽会の記念CDジャケット」を製作する題材である。

2 題材を通して育成を目指す資質・能力

知識及び技能

作品を表現したり鑑賞したりする際に、形や色等の感じについて自分の感覚を通して分かるとともに、材料や用具を使い、表し方等を工夫して創造的に表すことができる。

思考力、判断力、表現力等

造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方等について考え、豊かに発想や構想をしたり、作品から自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。

学びに向かう力、人間性等

進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、形や色等と関わり、自分の思いやイメージをもって楽しく豊かに取り組もうとする。

3 題材のデザイン 全7時間

本題材の流れ	児童の学びの姿
美術作品を鑑賞し、形や色等の感じに気付く 本時	◎ マティスの切り絵の作品を鑑賞し、形や色の感じに気付きテーマを読み取る。 ・形が踊っている人に見えるので、たぶんサーカスの絵だと思ふよ。 ・色がとっても明るいから、マティスさんは幸せな感じを表したいんじゃないかな。
曲から感じたことを基に、CDジャケットをどのように表すか考える 表したいことに合わせて、表し方を工夫する	◎ 音楽会で演奏する曲のイメージを言葉で表し、内容や雰囲気合うイメージのアイデアを考え、色紙を使って表し方を工夫し創造的に表す。 ・曲のイメージからアイデアを考えて友達と話したら、いろんな感じ方や考え方があんだなとびっくりした。もっと、いろいろ工夫したい。 ・形や色などを工夫して色紙を切ったり、紙の方向や大きさを変えたりしてみた。 ・考えたことから、白の台紙に4色の色紙を組み合わせて、工夫して貼ったよ。
完成作品を相互鑑賞する題材のまとめをする	◎ 完成した作品を相互鑑賞し、お互いの作品のよさや面白さを感じ取る。 ・曲から感じた内容やイメージって、みんな違って面白いな。 ・形や色等を工夫すれば、表したいイメージをいろいろ表現できるね。

◎本題材における「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を支える手だて

主体的な学び

- ◎児童が形や色等の感じに気付きやすい作品を準備し、作品と効果的に出会う場面を工夫した鑑賞の活動を仕掛ける。
- ◎造形的な視点を大切に、振り返りから学びの変容を自覚させる。

対話的な学び

- ◎作品鑑賞は、まず個人で考えさせ、児童に視点をもたせてから話し合いを行わせる。
- ◎鑑賞して読み取った作品に込められた思いや表現の工夫を話し合わせる場面を設定する。

深い学び

- ◎交流して得た作品に対する見方や考え方を基に繰り返し作品を鑑賞させたり、作品について考えさせたりすることで、作品を捉える造形的な視点を広げさせる。

本時のねらい

形や色等の感じに着目して、作品の面白さや表したいこと、いろいろな表し方について感じ取ったり考えたりすることができる。

本時の流れ

前時を確認し
本時のめあて
を知る

めあて
絵をよく見て、
作品のテーマ
を考えよう

作品を鑑賞し、
自分で考えた
テーマについて
班で話し合
う

※上記を6作
品繰り返す

学習内容をま
とめる

まとめ
色や形の感じ
をよく見ると、
作品のテーマ
が考えられる

振り返りをす
る

児童の学びの姿

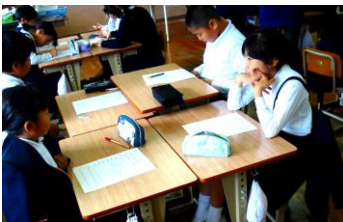
◎前時のマチスの作品鑑賞から学んだことを確認する。

- ・いろいろな色が使われていたし形も大小あって、面白い形がいっぱいあった。
- ・今日は、作品からテーマを考えるんだね。



◎マチスの作品から、テーマとそう感じた理由を考える。

- ・ぎざぎざの歯が面白い。きっとライオンにいらまれているんだよ。
- ・あたたかい色だから、テーマは「幸せの心」だと思ふな。



- ・班で話し合ったら、自分とは違う考えがあって面白いな。
- ・作者の作品への思いが分かった。もう一度鑑賞してみよう。

◎鑑賞を通して気付いたことや分かったことをワークシートに記入し発表する。

- ・自分と友達の考え、マチスさんの考えが違ってびっくりした。
- ・色と形をよく見ると、作品のテーマが分かった。作品を描くときにも気を付けたいな。

教師の手だて

主体的な学びの手だて 形や色、イメージ等から、よさや面白さに児童が気付きやすい作品を鑑賞させる。

- 前時に気付いた視点の形や色、イメージを確認し、本時は、その視点を使って作品のテーマを考えることを説明する。
- 最初に個人で作品をしっかり見ることと、作品から考えた根拠も発表することを伝える。

対話的な学びの手だて 意図的に異なる考えを発表させ、根拠を基に作品に対する見方や考え方の違いに気付かせる。

- 最初は、テーマが捉えやすい作品を児童に鑑賞させ、その後、形や色等から作者の様々な思いが捉えられるような作品を段階的に鑑賞させる。

深い学びの手だて 対話で気付いた見方や考え方でさらに作品を鑑賞させたり、自分と友達の考えたことの違いを基に作品を捉え直させたりする。

- 学びを振り返り、本時で学んだことをワークシートに記入し、発表させる。



Point

作品から自分の考えをもたせる

作品鑑賞では、児童が自分の考えをもってから対話をするようにしましょう。そのためには、鑑賞の視点を確認し、個人で見える時間を十分確保しましょう。

Point

根拠を交流する話し合い

児童に自分とは違った見方や考え方があることに気付かせましょう。そのためには、根拠も一緒に発表させ、お互いの意見のよさを認め合う雰囲気大切にするとよいでしょう。

Point

造形的な視点から考える

交流して得た見方や考え方をういて、もう一度個人で考えさせましょう。そのためには、造形的な視点を大切にしながら、新たに考える場面を設定するとよいでしょう。



授業づくりの視点

「A表現」の全ての題材で主題を大切にしましょう。1年生の「B鑑賞」では、生徒が見方や感じ方を広げられるようにしましょう。

形や色彩等の造形の要素に着目してそれらの働きを捉えたり、全体に着目してイメージを捉えたりする造形的な視点を大切にしましょう。

表現と鑑賞を関連させ、発想や構想、鑑賞をする際にも働く学習の中心となる考えを大切に授業を改善していきましょう。

授業実践事例

1 題材の概要 私の○○デザイン構成【第1学年】

生徒に生活の中で感じる色彩の特性や感情にもたらす効果に気付かせ、自分の好みや趣味等から発想して、自己を紹介する色彩構成の授業である。完成後はお互いの作品の主題を読み取らせるとともに表現の工夫にも注目させる題材である。

2 題材を通して育成を目指す資質・能力

知識及び技能

色みや明るさ、鮮やかさ等の性質や、それらが感情にもたらす効果について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。

思考力、判断力、表現力等

作品や身近な製品等のよさや美しさ、形や色彩等が感情にもたらす効果等を考え、対象の特徴や面白さ等から主題を生み出し豊かに発想や構想を練ったり、作者の心情や表現の意図と工夫等について考えて見方や感じ方を広げたりすることができる。

学びに向かう力、人間性等

楽しく表現や鑑賞の活動に取り組み、形や色彩等が感情にもたらす効果等に気付いたり活用したりしようとする。

3 題材のデザイン 全11時間

本題材の流れ	生徒の学びの姿
色彩の特徴や感情にもたらす効果に気付く	◎身の回りのものを鑑賞し、色彩の特徴や感情にもたらす効果に気付く。 ・色には明るさや鮮やかさだけでなく、軽重等、感情にもたらす効果があるんだ。 ・商品のイメージにあった色が使われる等、美術が社会の中で活用されているね。
主題を生み出し、意図に応じて表現を工夫する	◎自分が好きなことやものから主題を生み出し、形や色彩の特徴や効果に着目しながら意図に応じて創造的な表現を工夫する。 ・アイデアスケッチを相互鑑賞したら、他の人の作品のよさや表現の工夫に気付くことができたし、形や色彩の特徴や効果に着目しながらアドバイスし合うと、課題解決のヒントに気付くことができた。 ・表したいことを、形や色彩等を効果的に用いたらイメージ等が伝えられた。
完成作品を相互鑑賞する 題材を振り返る 本時	◎完成した作品を相互鑑賞する。 ・作品に込められた作者の意図が読み取れたし、他の人が違った見方や考え方をしていることに気付いた。新しく知った視点を次の授業で活用したい。 ・色彩の特徴や感情効果は、生活の中でも活用されているので、もっと調べたい。

○本題材における「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を支える手だて

主体的な学び

- 題材と効果的な出会いを準備し、生徒の興味や関心を高める。
- 色彩の特徴や感情にもたらす効果が、身近な生活の中で効果的に活用されていることを理解させ、学びの意味に気付かせる。

対話的な学び

- アイデアスケッチや完成作品を相互鑑賞し、作品のよさや表現の工夫を感じ取らせ、新しい視点に気付かせる。
- 鑑賞して読み取った作品のよさ等を交流する場面を設定する。

深い学び

- 交流して得た作品に対する見方や考え方を基に作品について考えさせることで、色彩の特徴や感情効果等を捉えさせる。
- 身近なものに繋げ、生活の中の美術の働きについて気付かせる。

生徒の学びの質を高めるPoint
自分の授業に取り入れてみましょう。

本時のねらい

形や色彩の特徴や感情にもたらす効果に着目しながら、作品のよさや美しさ、表現の工夫を読み取ることができる。

本時の流れ

生徒の学びの姿

教師の手だて

本時のめあてを知る

めあて

形や色彩、イメージに注目して作品のよさや美しさ、表現の工夫を見つけよう

学級全体の作品を鑑賞し、自分なりの考えをもってから交流し、自他の感じ方や考え方の違いに気付く

学習内容をまとめる

まとめ

形や色彩の特徴、色彩の感情にもたらす効果を活用すると、意図を伝えたり、表現を工夫したりすることができる

振り返りをする

◎ 作品から造形的な視点を確認し、見通しをもつ。

- ・形や色彩、イメージ等から作品のよさや工夫を見つけた。この視点で作品をもっと見たい。
- ・鑑賞後、キャプションを見たら、思ったよりいろんな表現の意図や工夫があって驚いた。



◎ 学級全体で鑑賞し、お気に入りの3点を選び、根拠も考える。

- ・意図に合わせて様々な表現の工夫があり、形や色彩の特徴や効果を使っていた。



◎ 班ごとの発表から、見方や考え方の違いに気付く。

- ・私が思ったのとは違う視点でよさや美しさを見つけていて驚いた。
- ・制作や鑑賞から、色彩の効果がとても影響することが分かった。



◎ 形や色彩の特徴や効果について確認し、身の回りの生活の中にもあるかを考える。

- ・形や色彩を工夫すれば、意図に合う表現ができるし、作品も読み取れるんだな。もっと身の回りのものの工夫を探そう。

主体的な学びの手だて

作品紹介のキャプションを伏せて相互鑑賞を行い、自分なりの感じ取り方ができるようにする。

- ペアで鑑賞後、キャプションを紹介し合い、自分の感じた以外の工夫に気付かせる。
- 生徒の発表から、形や色彩、イメージ等といった〔共通事項〕を造形的な視点として押さえ、めあてにつなげる。

対話的な学びの手だて

造形的な視点を意識させて、作品のよさや美しさ、表現の工夫の面白さを捉えさせる。

- 鑑賞する際には、作品から感じたり考えたりした根拠についても考えさせる。

深い学びの手だて

交流して得た作品に対する見方や考え方を基に作品について考えさせることで、色彩の特徴や感情効果等を捉えさせる。



- 身の回りの生活の中から、色彩の特徴や感情効果が活用されているものを探させたり話し合わせたりすることで、生活の中の美術の働きに気付かせる。

Point

作品から自分の考えをもたせる

作品鑑賞では、生徒が自分の考えとその根拠をもってから対話する場面を設定しましょう。そのためには、鑑賞の視点を確認し、まず個人で見る時間を確保しましょう。

Point

根拠を交流する話し合い

対話を通して、生徒に自分とは違う見方や考え方があることに気付かせましょう。そのためには、根拠も一緒に発表させ、形や色彩、イメージ等をどのように捉えているか確認させるとよいでしょう。

Point

造形的な視点から考える

対話で得た見方や考え方をういて、もう一度個人で考えたり授業の目標にせまったりする場面を設定しましょう。そのためには、本時で何を学ばせたいかを教師が明確にもつことを大切にするとよいでしょう。

※「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」は、必ずしも全てが1単位時間の授業で見られるものではなく、単元や題材等、内容や時間のまとまりの中で、実現を図っていくものです。本資料では、1単位時間において三つの学びを支える最も効果的な教師の手だてを精選し、紹介しています。